

子どもの発達・成長を学ぶ

受講料
無料

昨年度に引き続き、子供の発達・成長に関する講座を開催します。乳幼児から小学校高学年までを対象に、発達段階に応じた保育・子育てに必要な知識を提供します。子供の成長や子育ての悩みなどを扱う子供論に関する内容です。

なお、一部の講義はインターネットによるオンデマンド配信により受講することもできます。

一 講 義 内 容 一

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| 第1回
5月27日(木) | 今一度、「3歳児神話」について考える |
| 第2回
6月17日(木) | 子どもの成長発達と病気
-病気の予防とホームケア- |
| 第3回
7月13日(火) | 今、教師は子供達を育てるという事を、どう考えればいいのか？ |
| 第4回
9月22日(水) | 親子の愛着（アタッチメント）について |
| 第5回
10月19日(火) | 関わり合いの中で育まれる子どもたち |
| 第6回
11月25日(木) | 子どもの「みてほしい」に応える大人 —0,1,2歳児の保育記録— |

時間 各回 10:30~12:00（受付は10:10開始）

対象 保育・発達段階の子を持つ親、保育士、潜在保育士、その他本プログラムの内容に関心のある方

会場 岐阜大学サテライトキャンパス
（※下記参照）

申込 1. ホームページの専用フォームから申込
2. FAX・メールのいずれかにて裏面の申込情報を送信
3. 電話にて申込情報を連絡

※各回とも先着50名まで

※オンデマンド受講可

【岐阜市吉野町6-31 岐阜スカイウイング37東棟4階】

会場である岐阜大学サテライトキャンパスへは、岐阜スカイウイング37東棟のエレベーターにて、4階までお越しください。エレベーターを4階で降りていただき、右手にお進みいただくと、岐阜大学サテライトキャンパスに到着します。

お車でのお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。



各回の講義概要 ※各回とも募集定員は50名（先着順）です。



第1回 5/27(木) 「平成10年度版厚生白書」において、「3歳児神話」（子どもが3歳になるまでは、母親は子育てに専念すべきであり、そうしないと成長に悪影響を及ぼすという考え方）には合理的な根拠が認められない」と記された。それと軌を一にするかのように、3歳未満児の保育所等への入所園児数は増加してきている。乳幼児期における愛着形成の重要性が叫ばれている今日、乳幼児期における望ましい子育ての在り方について考えてみましょう。
(岐阜女子大学 文化創造学部初等教育学専攻 准教授 奥村 正彦)

第2回 6/17(木) 成長発達過程にある子どもだからこそ、病気やケガは大人よりも多いのが一般的です。どうしてなのでしょう？子どもの特徴を踏まえながらお話しします。皆さんがしている病気の予防としての手洗い・うがい。この「うがい」は、な・なんと！岐阜に馴染み深い「鵜飼い」が語源とされています。このような身近な話から、ご家庭や保育現場で行われる病気の予防対策や、病気になった時のホームケアなどをお伝えします。
(岐阜聖徳学園大学短期大学部 幼児教育学科 准教授 大西 薫)

第3回 7/13(火) 粘土は可塑性を特長とします。掌に粘土の小さな球を置いて、右の手に力を入れると左手でその力を受けます。そうしないと形はできていきません。今子供達には多様な力が掛かっています。教師はどうその力を受けたいのか？答えのないことを考えてみます。
(東海学院大学短期大学部 幼児教育学科 准教授 浅野 秀男)

第4回 9/22(水) 親子関係を理解する上で、愛着（アタッチメント）は欠かせない考え方の1つであり、現代では一般的にも認知され始めている。しかし、誤った理解や不十分な理解をされていることも多い。本講座では、愛着についての基礎的な内容について、なるべく例などを用いながら丁寧に解説していこうと思っている。
(中京学院大学短期大学部 保育科 専任講師 信太 寿理)

第5回 10/19(火) 人は生まれた瞬間から、養育者との心の響きあいの体験を多くする中で、人として育っていきます。愛着が育ち、信頼感が育ち、さらに自己肯定感が育ち、外の世界へと心は広がっていきます。ことばで表現できなくても、子どもは行為で、表情で、あそびで、私たちへ語りかけています。そこに私たちが応えるからこそ、健やかに育っていけるのです。子どもの心の発達を保育学・乳幼児精神保健学・精神分析学の視点から見てみましょう。
(中部学院大学短期大学部 幼児教育学科 教授 ダーリンブル規子)

第6回 11/25(木) 子どもは誰しも自分を「みてほしい」という大きな欲求を抱えています。しかし、子どもたちみんながそれを上手く伝えられるわけでもなく、また大人が上手くキャッチできるわけでもありません。ことばで伝えることができない0～2歳児では尚更です。自己肯定感の育ちにつながる大事な場面をいかに引き出して応えるのか、子どもの思いに応えようとする保育現場のエピソードから考えてみましょう。
(大垣女子短期大学 幼児教育学科 講師 名和 孝浩)



FAX用 受講申込書 （FAX送付先番号：058-212-0391）

以下のとおり、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 令和3年度公開講座（子供の発達）に参加を申し込みます。

お名前(フリガナ)	☐ 男性 ☐ 女性		
電話番号		職業	☐ 学校関係者 ☐ 保護者 ☐ その他（ ）
メールアドレス	※オンデマンド配信希望の方は記入必須		
住所	〒 -		
年齢	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60歳以上		
受講希望回	☐ 第1回(5/27) ☐ 第2回(6/17) ☐ 第3回(7/13) ☐ 第4回(9/22) ☐ 第5回(10/19) ☐ 第6回(11/25) ☐ オンデマンド配信（インターネット受講）を希望します		
個人情報取扱の同意	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜から他の講義や講座情報をご案内するため、お名前・住所等を利用させていただいてよろしいでしょうか。 ☐ 同意する ☐ 同意しない		

お申し込み時にいただいた個人情報は、講座担当大学等と共有させていただく場合があるほか、休講など講座に関するご連絡やコンソーシアムからのイベント情報のご案内（同意を得た方のみ）に利用させていただきます。情報は厳重に管理し、法令上の理由など特段の事情がない限り許可なく第三者への提供はいたしません。